

事業所名 グループホーム遊友

作成日: 平成22年12月27日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義と役割を今一度全職員で話し合い、現状にあった事業所独自の理念を作り上げる。	全員が理念を共有する。理念をみんなで作る。その実践。	平成22年11月7日、理念について意見を出してもらおう。ロングミーティングなどでより良いものに仕上げていく。	3ヶ月
2	6	門扉の鍵については、警察からの指摘もあって付けている。本来は鍵をかけない自由な暮らしが望ましい。	鍵をかけないで過ごせる自由で安心な暮らし。	地域の理解と協力が得られるような働きかけをする。家族の面会を増やしていただく。利用者の外に出たがる思いを理解しつつ、出ないでも過ごせる日々に変えられるよう努力する。	12ヶ月
3	35	非常災害時で特に夜間の場合は、職員の対応だけでは限界があるので、近隣の人々に日頃から協力を働きかけ、避難訓練に地元の人々の協力と参加を得る。	近隣の人たちと一緒にする避難訓練。	運営推進会議の1回は、避難訓練をする。餅つき会(12月23日)の日に避難訓練をする。なぜなら、近隣の人にお手伝いを頼んでいる。また、地域の消防団員にも呼びかける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。